

(臨床研究に関する公開情報)

大阪南医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当施設における超音波ガイド下動脈カテーテル留置の臨床成績

[研究責任者] 麻酔科 笠井 智美

[研究の背景]

全身麻酔では、術中の血圧管理や輸液管理などのために橈骨動脈カテーテル留置を行うことがあります。橈骨動脈カテーテル留置を超音波ガイド下におこなう方法には、穿刺成功率を上げる、合併症の発生率を下げるなどの有用性が報告されています。当施設では、2017年夏より超音波ガイド下の穿刺法を第一選択とするようになりました。これまでの当施設での臨床経験をもとに、超音波ガイド下の穿刺法の成績について分析をおこない、得られた知見をもとに臨床使用の改善を目指します。

[研究の目的]

動脈カテーテルの留置が求められる症例の中には、動脈が十分に触知できない症例や血管穿刺後のカテーテル挿入に難渋する症例があります。このような症例では、超音波ガイドの利用が有効な補助・救済手段となることが多いです。

穿刺困難症例に超音波ガイドを利用してきたこれまでの経験にもとづき、当施設では、2017年秋から動脈カテーテルの留置に全例で超音波ガイドを使用しています。橈骨動脈カテーテル留置を超音波ガイド下におこなう方法の有用性について確認することを目的に本研究を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

全身麻酔を受けられる患者さん

●研究期間：倫理委員会承認後から西暦 2024 年 3 月 31 日

●観察・検査項目

検体：なし

カルテ情報：手術日、病名、手術術式、年齢、性別、身長、体重  
橈骨動脈カテーテル留置を超音波ガイド下で行ったときの手技の成否・穿刺回数・穿刺針の使用本数・穿刺針の種類・合併症の有無・橈骨動脈径と尺骨動脈径の差

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構大阪南医療センター

麻酔科 笠井 智美

電話 0721-53-5761 FAX 0721-53-8904